

＝この議会に向けて＝

埼玉県和光市議会議員菅原 満客員研究員

「イギリスのEU離脱」

◆イギリスのEU離脱を巡る動きは、6月23日投票・開票の結果、僅差で離脱という結果になりました。国民投票の結果であり、今後は、イギリスとEU（加盟各国）とで、離脱に向けた協議を行うこととなります。

◆この国民投票の結果に関しては、投票した国民自身の中にも驚きをもって受け止められたと伝えられています。「こんなはずではなかった。」と思っても、離脱という意思表示は示されたのであり、結果について、政治家のみならず国民として責任を負うこととなります。

◆「YES」か「NO」か、二者択一の選択肢の場合は、第三案はなく、国民投票（又は、住民投票）では、示された結果が全体に及びこととなります。まして、「感情」に訴える熱情（扇動）によって、理性（思慮）をもった判断が得にくくなる可能性がでてきます。

◆議員活動においても、「YES」か「NO」、「良し」か「悪し」という二者択一の選択ということだけではなく、物事の背景や要因、求めようとする結果による影響も含めて、考え、有権者と対話していくことが大切ではないかと考えます。「感情」に先走って「勘定」が合わなくなることは避けたいものです。

「評価指標と「決算統制」…」

◆今年も決算審査の時期となりました。この議会や閉会中に審査を行うこととなります。決算審査の方法も、特別委員会を設置して審査、常任委員会での審査、特別委員会設置と分科会（常任委員会）での審査、そして、審査形式に加えて、議会での審査を活かすため、審査での事業評価、翌年度予算への反映と工夫を凝らしているかと思えます。

◆歳入・歳出それぞれ予算時での見積り、見込み、契約、事業進捗、効果、そして、収入・支出での課題について基本を質していくこととなります。額は小さくとも、法令・例規などに照らしてみても適切・適正か確認することも基本的なこととなります。

この議会中での審査となると、決算提出から審査まで期間があまりとれないので各科目を細かくチェックしていくことは大変です。そこで、会派内で役割分担して決算内容を吟味し、その後、各担当からの報告と会派内での疑問点や課題のチェック、打ち合わせを行うことで、より効果的に決算審査に臨めることと考えます。

◆「新公会計」により決算審査重視という考えがより深まるかもしれません。その一方で、自治体の運営財源は、「税金が主である財源」であり、当初予算の組み方、見積もり、事業見込みを徹底して確認することで、議会の議決を要する予算を通じて執行管理求めていくという「予算統制」を実現していくことも大切だと考えます。

「またまた決算審査です…」

◆予算や決算の提出される議会の委員会審査では、各事業項目に沿って細かな審査、質問を展開できると思いま
す。自分の出した一般質問と審査とで項目が重複するか
らといって、一般質問を優先して委員会での質問が疎か
になることは避けたいものです。特に、決算審査におい
ては、付随した報告書、議会側が要求した資料などを大
いに活用して執行過程や執行結果について疑義を質して
いく必要があります。

◆一般会計・特別会計（企業会計も含む。）の決算書が中
心となつての審査が進むことかと思ひます。他に、決算
状況調査表、普通会計決算状況調決算カード、企業会計
の決算統計も活用して、決算審査を進めていくことにな
るかと思ひます。（※財政状況や地方公営企業の決算資料
は、総務省HPを参照。）

◆ここで注意を要するのは、決算関係の指標数値につい
て、数値のみをもつての質問展開のみならず、指標数値
の根拠、他団体との行政事情の違いを考慮すること、また
類団だからと言って単純比較だけではなく、やはり行政
事情の違いも踏まえて質していくことが肝要です。また、
「一般会計・特別会計」と「普通会計」の数値の違いに
も注意をしておくことが大切です。

◆出資法人などの個別の財務状況、そして、一般会計、
特別会計、出資法人などとの連結した財務状況はどつつか。
健全化比率などを活用し、将来への禍根を残さない財政
運営、財政状況を質していくことが考えられます。

◆細かい点ですが、一時借入れの状況も確認しておく
ことが挙げられます。幸い、超低金利の中ですから、借
り入れをしても金利負担は少なく済みます。また、年度
末に、現金収支の都合上借入れがあるかもしれませぬ。
しかし、借入れの要因を確認し、借り入れに頼る財政
運営に陥らないようチェックしておくことが必要です。

◆財政分析では、他団体との比較と同時に時系列での分
析も行っていると思ひます。時系列での比較に当たつて
は、**経済社会情勢の変化はもろろん**、税制の改正（歳入に
影響）、事業の制度変更（後期高齢者医療制度導入時の国
保加入者の変化や負担金に影響）といった**数字の異動に
注意を払う**ことも必要です。決算カードでは、人口の捉
え方が変わっており、「一人当たり」を考慮する際に調整
が必要です。

◆自治体の行政には、膨大な事務事業があり、福祉や保
険では、制度の見直しが頻繁に行われてきています。行
政の運営、執行のチェックを行うには、どこまで知識
を持てばよいかの判断は難しいところですが、少なくとも、
思い込みや勝手な判断を避けるための「確認」を行うこ
とや「聞く」ことは、議員として重要な技量かと思ひま
す。（読者の皆さまの「意見」叱正をお願いいたします。時
系列の図表については、今後、当方のHPに掲載予定です。）

※参考 竹内靖雄著『経済倫理学のすすめ』（中公新書）

村上道夫他著『基準値のからくり』（中公新書）

（平成28年第三回議会用原稿）